

小児OSAの基本的知識から歯科的対応まで具体的に解説！

歯科医師が知っておきたい

# 小児の閉塞性睡眠時無呼吸

— 健全な口腔顎顔面発育に必要な知識と対応のポイント —

編著 外木守雄

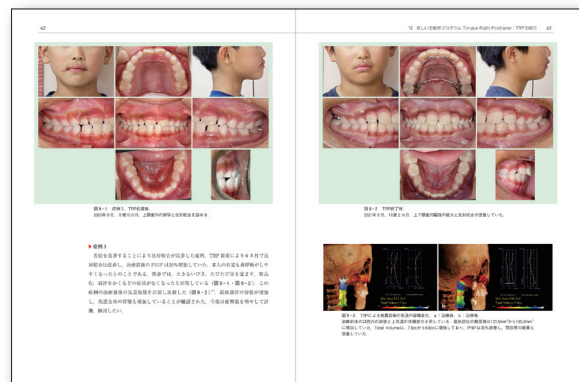
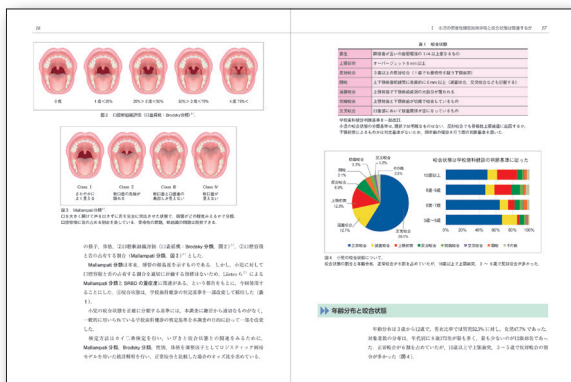
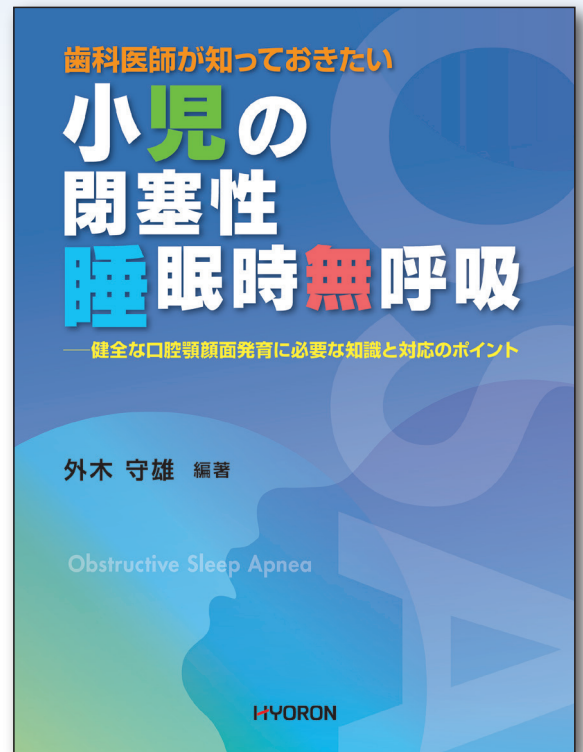
亀田総合病院 顎変形症治療センター睡眠外科／  
日本大学歯学部 附属歯科病院口腔外科／神奈川歯科大学

■小児の閉塞性睡眠時無呼吸(OSA)は、アデノイドや口蓋扁桃肥大、鼻炎のほか、顎顔面の発育不全などが要因で、いびきや体動、日中の眠気、ポカン口といった症状がみられ、注意欠如・多動性障害(ADHD)の発現に関連するといわれており、心身の健全な成長のために早期発見・早期治療を行うことが大切です。

■この小児OSAに対し、歯科は定期的に口腔内の状態を観察できるため、その要因に早期に気づき、適切に対応することが期待されています。

■本書は、小児OSAの特徴や病態、咬合との関連性、上顎の拡大矯正や口腔筋機能療法の実際、舌機能不全へのアプローチなど、歯科医師が知っておくべき知識と対応について、各領域のエキスパートが解説しています。

A4変判・96頁・カラー・定価7,150円(税込)



歯科医師が知っておきたい

# 小児の閉塞性睡眠時無呼吸

——健全な口腔顎顔面発育に必要な知識と対応のポイント——

## 内 容 構 成

はじめに 小児の閉塞性睡眠時無呼吸と歯科  
……外木守雄

I 小児の閉塞性睡眠時無呼吸と咬合状態は関連するか  
……荻澤翔平(日本大学歯学部口腔外科学第I講座)・外木守雄

II 小児期の睡眠関連呼吸障害の特徴,  
鼻呼吸障害・アデノイド・口蓋扁桃肥大との関連  
……池田このみ(厚木市立病院 耳鼻咽喉科)  
千葉伸太郎(太田総合病院 太田睡眠科学センター)

III 上顎の拡大矯正RMEの実際  
……岩崎智憲(徳島大学大学院医歯薬学研究部 小児歯科学分野)

IV 小児の閉塞性睡眠時無呼吸に対する歯科医師の役割  
——上顎急速拡大に関する論争の顛末  
……外木守雄

V 新しい舌教育プログラムTongue Right Positioner : TRPの紹介  
……外木徳子(千葉県千葉市・とのぎ小児歯科)

VI MFTの実際——顎顔面口腔周囲筋群の訓練方法の活用  
……清水清恵(東京都江戸川区・清水歯科クリニック)

VII 小児期の口腔機能発達不全が老年期のオーラルフレイルに及ぼす影響  
……槇原絵理(九州歯科大学歯学部歯学科口腔機能学講座 顎口腔欠損再構築学分野)

VIII おわりに 小児の閉塞性睡眠時無呼吸に対する歯科の役割  
——Airway Dentistryの創生  
……外木守雄